

【コロナ特別対応型・補助金事務局提出用】

(様式第8)

独立行政法人中小企業基盤整備機構
理事長 殿

令和●年●月●●日

提出日をご記入ください。(提出締切日は、事業完了日から起算して30日を経過した日、または公募要領記載の各回指定期日のいずれか早い日です。)

住 所 ○○県○○市○○町○—○—○
名 称 ○○○○ 株式会社
代表者の役職・氏名 代表取締役 ○○○○ 印
※共同申請の場合は連名

小規模事業者持続化補助金に係る補助事業実績報告書

小規模事業者持続化補助金<コロナ特別対応型>交付規程第18条第1項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

1. 補助事業名 (補助金交付決定通知書の日付を記載のこと。)
小規模事業者持続化補助金事業
(令和●年●月●●日交付決定 (第●回受付締切分))

当所から郵送した「交付決定通知書」に記載の日付をご確認ください。

2. 事業期間
開始 令和●年●月●●日
終了 令和●年●月●●日

補助対象事業の開始日 (=1. の交付決定日当日、および適用を希望した場合はその日) を記入してください。

事業が完了した日を記入してください (全ての補助対象経費の支払は事業完了日以前となります)。

3. 実施した補助事業の概要

(1) 事業者名

○○○○ 株式会社

(2) 事業名

○○○○○における販路開拓

(3) 事業の具体的な取組内容

(応募時に) 補助事業計画書に記載した事業名を記入してください。

(以下は記載例です。該当する経費支出に関する文例を適宜参考にしながら、自社で実施した補助事業の取組内容を記入してください。共同事業の場合には、全ての事業者の取組内容を個社ごとに記載してください。)

- ア) 新商品のワッフルを製造するため、25万円の業務用オーブンを8月15日に購入し、オーブンの使用を開始した。(機械装置等費の例)
- イ) 印刷会社に依頼して新たなテイクアウトに関するチラシを500部作成し、8月20日から27日にかけて店頭で従業員と共に配布することで、幅広い年代層の集客を図った。(広報費の例)
- ウ) 店舗のバリアフリー化工事(手すりの設置、段差の解消・7月10日から8月17日まで実施)を外注し、高齢者の集客力の向上を図った。(外注費の例)

- エ) 店内工事後に消毒作業を業者に外注、お客様、従業員用アルコール消毒液、清掃用の消毒液（5月14日～8月31日までの109日分）を購入し、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めた。
- オ) 感染拡大防止のため従業員等が着用するマスク（5月14日～8月31日までの分5名×109日分）を購入、使用。
- カ) 従前に比べ店舗内の清掃を頻繁に行うため、従業員等が着用する手袋（5月14日～8月31日までの分10セット×109日分）を購入、使用。
- キ) 客席と客席間の飛沫を防止するため、透明ビニールシート（5枚）を購入。
- ク) 店舗内の換気を円滑に行うため、新たに換気扇の購入・設置し換気に努めた。
- ケ) お客様がトイレで使用されるペーパータオル（5月14日～8月31日分100枚×109日分）を購入、使用。
- コ) お客様に弊社の感染防止に関する取組を周知するため、ポスターを5枚作成。

補助事業取組内容（「コロナ特別対応型」と「事業再開枠」）を記入してください。

（4）事業成果（概要）

（以下は記載例です。該当する経費支出に関する文例を適宜参考にしながら、自社で実施した事業の成果を記入してください）

- ア) 機械装置の導入によって新たな商品の生産が可能になり、当社予想では新たに〇円の売上の増加が期待できることとなった。（機械装置等の例）
- イ) チラシの配布により、新サービスに関する電話での問い合わせが増えたほか、配布後の来店数が前月比で概ね〇%（〇人）増加した。（広報費の例）
- ウ) 店舗のバリアフリー化を実現でき、来店されたお客様からは「お店に入りやすくなって良かった」との言葉をもらった。（外注費の例）

- エ) 消毒作業を行うことで従業員も安心して従事ができ、コ) でもあるようにポスターで周知を図り新型コロナウイルス対策を行っているお店であることの周知を図ることができた。
- オ) 従業員には勤務中清潔なマスクを着用することで新型コロナウイルス感染防止を図った。
- カ) エ) で購入した消毒液と共に毎日定期的な消毒作業により新型コロナウイルス対策を行うことができた。
- キ) 客席間にビニールシートを設置することで飛沫対策を行った。
- ク) 客席側に換気扇がなかった為、新たに換気扇を設置することで十分な換気を図った。
- ケ) トイレのジェットタオルを廃止したことで、ペーパータオルに切替え、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図ることができた。
- コ) 定期的に消毒作業を行い、新型コロナウイルス感染症防止対策を行っていることをアピールするポスター5枚作成し、店内に掲載することでお客様に安心感を与えることができた。

（5）事業経費の状況

- ・支出内訳書（別紙5）

（6）本補助事業がもたらす効果等

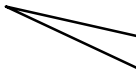
（以下は記載例です。適宜参考にしながら、自社で実施した補助事業がもたらす効果等を記入してください）

<飲食店の例>

開業から3年が経ち、継続顧客を確保しつつあったが、補助事業で新しい商品を販売することで、来店者の顧客単価の引き上げにつなげようと、補助事業を実施した。補助事業計画の策定段階では、新しい商品メニューの開発・導入により、導入後は月〇円の売上の増加を期待していたが、開発した商品メニューのテスト結果は良好であるので、補助事業終了後には、計画策定時に期待していた程度の売上の増加を見込んでいる。

事業再開枠を活用することで新型コロナウイルス感染防止に努め現在まで当店から感染者を出すことなく営業を行うことができた。引続き感染防止に努め安心安全な料理を提供し、売上拡大に努めていく。

(7) 本補助事業の推進にあたっての改善点、意見等



ご自身が実際に補助事業に取り組まれたことを通じてお感じになった、持続化補助金制度等に関するご意見等があれば、ご記入ください。

(別紙5)【様式第8：実績報告書に添付】

※特例事業者以外用

支出内訳書

事業者名：株式会社〇〇〇〇

交付決定を受けた投資類型 ※該当する類型に○を付けてください	A • B • C
特例事業者ではない	はい • いいえ

(単位：円)

経費区分	補助対象経費	うち新型コロナウイルス関連投資額
1. 機械装置等費	250,000	
2. 広報費	500,000	500,000
3. 展示会等出展費		
4. 旅費		
5. 開発費		
6. 資料購入費		
7. 雑役務費		
8. 借料		
9. 専門家謝金		
10. 専門家旅費		
11. 設備処分費 (①)		
12. 委託費		
13. 外注費	450,000	
補助対象経費合計 (上記 1.~13.の合計)	② 1,200,000	③ 500,000
① ≤ ② × 1/2 かつ ① が申請・交付決定時の計上額の範囲内 → はい • いいえ ※「いいえ」の場合は実績報告ができません。	/	
③ ÷ ② ≥ 16.7% (1/6) → はい • いいえ ※「いいえ」の場合は実績報告ができません。		
(1) 補助対象経費合計 (②) の 3 分の 2 又は 4 分の 3 の金額 (円未満は切り捨て)	類型 A のみ (② × 2/3)	
	上記以外 (② × 3/4)	900,000
(2) 交付決定通知書記載の補助金の額 (コロナ特別対応型) (計画変更で補助金の額を変更した場合は変更後の額)		900,000
(3) 補助金額 (コロナ特別対応型) ((1) 又は (2) のいずれか低い額)		900,000
14. 消毒費用		100,000
15. マスク費用		100,000
16. 清掃費用		20,000
17. 飛沫対策費用		10,000
18. 換気費用		200,000
19. その他衛生管理費用		10,000

20. PR費用	5,000
(4) 補助対象経費合計 (上記 14.~20.の合計)	445,000
(5) 交付決定通知書記載の補助金の額 (事業再開枠) (計画変更で補助金の額を変更した場合は変更後の額)	445,000
(6) 補助金額 (事業再開枠) ((4) 又は (5) のいずれか低い額)	445,000
(7) 概算払請求額	672,500
(8) 収益納付額 (控除される額)	0
交付を受ける補助金額 (精算額) (3) + (6) - (7) - (8)	672,500
チェック①: (3) + (6) が 1,500,000 円以下	<input checked="" type="radio"/> はい ・ いいえ ※「はい」となる必要があります。
チェック②: (3) ≥ (6)	<input checked="" type="radio"/> はい ・ いいえ ※「はい」となる必要があります。

※概算払を受けている場合、収益納付がある場合には、補助金の確定額から納付分が減額されて精算されます。

(別紙7の納付額 (F) に記載がある場合は、「(8) 収益納付額 (控除される額)」の欄に、別紙7の納付額 (F) を記入)

※共同申請の場合は、補助事業者ごとに作成すること。